

うっしっしいー情報2024

11月市



豊岡農業改良普及センター

11月13日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が110万、雌が86万4千円でした。

普及センター調べ（税込価格）
（雄を除くため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
赤佐	1	0.898	965,800	3	0.816	821,333	4	857,450
丹波篠山	4	0.902	1,118,150	1	0.772	798,600	5	1,054,240
丹波	13	1.006	1,158,215	9	0.884	825,489	22	1,022,100
朝来	7	0.949	998,800	6	0.867	848,650	13	929,500
播磨	17	0.915	1,003,135	11	0.809	776,400	28	914,061
美方郡	65	0.980	1,099,695	48	0.868	897,577	113	1,013,840
豊岡	19	0.923	1,082,053	15	0.813	796,400	34	956,029
養父	31	0.973	1,244,277	30	0.864	933,020	61	1,091,200
摂津・神戸	9	0.945	1,016,644	10	0.799	774,070	19	888,974
県北C	8	0.890	992,200	3	0.838	820,967	11	945,500
市場全体	174	0.959	1,104,824	136	0.849	864,325	310	999,315

11月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸若土井	37	0.962	1,204,470	28	0.848	896,068	65	1,071,620
2	丸彩土井	7	0.980	1,044,057	4	0.861	1,072,500	11	1,054,400
3	忠味土井	16	0.941	1,102,819	8	0.816	873,263	24	1,026,300
	総計	174	0.959	1,104,824	136	0.849	864,325	310	999,315
4	山伸土井	31	0.999	1,119,055	29	0.893	864,941	60	996,233
5	丸池土井	9	0.939	1,130,189	9	0.837	849,689	18	989,939
6	忠正土井	9	0.952	1,089,733	8	0.812	828,850	17	966,965
7	茂貴波	7	1.014	1,053,014	3	0.779	761,933	10	965,690
8	丸春土井	13	0.937	1,059,046	9	0.825	814,000	22	958,800
9	藤彦土井	8	0.937	1,059,438	4	0.754	739,200	12	952,692

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸若土井	B	A+	A++	A+	A++	A+
2	丸彩土井	B	B	A++	C	A	C
3	忠味土井	B	A+	A	C	A+	A+
4	山伸土井	A	A++ → A+	D	A+	A+	A
5	丸池土井	C	A++	D	B	A+	A++
6	忠正土井	C	B	A+	C	B	B
7	茂貴波	A	A+	D	C → D	B	B
8	丸春土井	C	B	C	B	B	A+
9	藤彦土井	A+	A	C	D	D	B



北部農業技術センター提供 (育種価評価は令和6年8月現在)

牛の発情サインを見逃さず確実に種付を!!

繁殖経営を行う上では、確実に発情を発見し、適期に人工授精することが大切です。みなさん、日頃から牛の観察を心がけていらっしゃると思いますが、繁殖管理を改めて勉強したいという声も聞かれたため、基本に立ち戻り、今回は発情サインについて再確認してみましょう。

1 牛の発情サインを見逃すな!

発情した牛は、よく鳴く、そわそわ落ち着きがない、スタンディング行動(他の牛に乗られてもじっとしている)などの行動が見られます。この時、牛の陰部を観察すると、普段より腫れていたり、粘液が出ていたりすることで、発情が確認できます。しかし、案外この変化は牛によってはわかりにくく、見逃してしまうことがあります。

(1) 陰部の変化

「陰部が腫れる」というと、明らかに外陰部が赤くなって腫れている状態を想像しがちですが、実際には、そこまで腫れない牛もいます。しかし、陰部が膨らむことによって、**発情時は普段より陰部のシワが少なくなります**(右上写真)。

また、**陰部を指でめくってみると、赤く充血している**ことが確認できます(右下写真)。

(2) 粘液の変化

「陰部から粘液が出る」というと、大量に出ている状態を想像しがちですが、これもわかりにくい牛がいます。

出ている粘液の色が半透明だと「発情し始め」、透明が「発情」の状態です。発情が終わりに近付くと、粘液の流出は少なくなります。

発情時に粘液が出ている状態で牛がしっぽを振ることで、粘液が乾いて白くカピカピしたものがお尻やしっぽの内側に付着して残り、発情していた、とわかることがあります。

このように、牛が出す「**発情サイン**」を見逃さないことが大切です。

(3) 血液の付着は発情周期を把握するカギ

分娩後20日頃に起こる発情は、微弱で発見が難しいです。しかし、しっぽなどに血液が付着しているのを発見できると、牛が発情していた証拠となり、次の発情予定日がわかります。

血液が付着 = 2日前が発情 → 2日前から計算して21日後が発情予定日(±3日)

【例】11月3日にしっぽの血液付着発見 → 11月1日が発情 → 次回発情は11月22日前後(11月19~25日頃)

(4) 再発情を見逃さない

確実に発情発見して適期に人工授精できても、必ずしも受胎しているとは限りません。2回目の授精が遅れてしまうと、それだけ分娩間隔は延びてしまいます。そのため、人工授精できたので妊娠鑑定までそのまま、ではなく、**人工授精21日後には再発情が来る、その時にはすかさず2回目の人工授精を実施する**という気持ちで観察を続け、再発情を見逃さないようにしましょう。

2 発情発見は、日々の観察と記録が大切!

発情発見率は、観察回数を増やすことで高くなる、というデータがあります(表1)。日常の作業時での観察だけでは、発情の見落としが4割以上もあることがわかります。1日2~3回、朝・夕方・寝る前など時間を決めて、しっかりと観察する時間を取ることが大切です。その際、牛舎内は電気を付けるなど明るくして、上述した発情サインを見逃さないようにしましょう。

みなさん各々のやり方で記録をつけていると思いますが、種付け日や観察結果などは記録して、次回の発情発見に繋げることが大切です。日々の記録から発情の可能性のある牛の目星をつけ、意識して観察しましょう。牛を観察する機会が多くなればなるほど、発情発見率は上がり、より良い繁殖経営に近づくはず!



表1 発情観察回数から見た発情発見率

観察回数など	発情発見率(%)
日常の作業時での観察	56
1日2回の定時観察	72~90
1日3回の定時観察	81~91
24時間中の観察	89~100

※養牛の友2015年11月号より引用